

「愛の賛歌」というのは、大伝道者であったパウロが、ギリシアのコリントの教会に書き送った「コリント人への第1の手紙」の第13章に与えられた異名です。

この章は三つの部分に分かれますが、第一の部分は、1節から3節までで、驚くほど大胆な言葉で愛の重要性につ



未熟は良いことである ～パウロの「愛の賛歌」考

司祭 ヨハネ 中道政昭

いて語っています。
2節後半から3節までを口語訳で引用しますと、

「山を移すほどの強い信仰があつても、もし愛が無ければ、わたしは無に等しい。たゞ、また、わたしが自分の全財産を人に施しても、また自分の身体を焼かれるために渡しても、もし愛が無ければ一切は無益である」

* * *

第二の部分は、4節から7節までで、まさに「愛の賛歌」です。

13章の第三の部分、8節か

ら13節までは、最も長く、最



2012年
10月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

も難解な部分ですが、12節にはこんなことが書いてあります。
「わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔とを合わせて、見るであろう」

パウロの伝道の生涯の終わるごろ、獄中からギリシアのピリピの町の教会の信徒たちにあてて書かれた手紙ですが、この手紙の3章12節から13節にはこう書いてあります。

* * *

「鏡に映して見るようにおぼろげに見ている」という句は、現代人には奇妙に響くかも知れませんが、古代の鏡は、も知れませんが、古代の鏡は、考古学的な出土品に見られるように、青銅などの金属を磨いて作ったものでしたから、もし誰かが、この部分だけを読んで、この手紙の1章の始めから読まなかつたならば、著者は何もかもうまく行っていない状況に大満足でこんな文章を書いたと誤解するかも知れませんが、事実は全く反対でした。

これに続いて「その時には、顔と顔とを合わせて、見るであろう」とは、「私たちが天国に行って、神様と顔と顔を合わせた時、初めて愛の実相が見えて来るであろう」ということなのです。ですからパウロは、4節から7節に記された愛の理想が、すぐに理解されたり、まして実行できるなどとは考えていません。

信徒の間に争いがあり、「わたしはパウロにつく」とか、「わたしはアポロに」、「わたしはケペ（ペテロ）に」とか言い争っていたのです。

私たちが、愛の理想に到達する道程はまだまだ遠いのですが、一方では、私たち自身の未熟さを謙虚に自覚しながら、神様と顔と顔を合わせる、神の賞与を得ようと努めているのである

パウロに比べれば、私たちの多くははるかに未熟な走者でしょうが、謙虚な心で人生の競技場を完走したいもので

第49回中高生大会報告

大会長 アントニー 小林和真

8月14日～17日の3泊4日、

広島にある似島臨海少年自然の家で第49回中高生大会が行われました。今回は、80名を超える

参加者が集まり、笑顔溢れる大会となりました。

大会初日の朝、広島は警報が出るほどの大雨で、天気予報を見ると2日間雨が続くとのこと。

昼過ぎには止んだのですが、朝の大霖で交通機関に遅れが生じ、開会式に参加者全員が集まることができず、不安のある中で中高生大会が始まりました。夕食を食べる頃には、全員が集合でき、その不安も無くなりました。夕食後は、中高生で親睦会

をし、良い雰囲気で1日目を終えることができました。

2日目の午前中には、東北から来てくださった佐々木康一郎先生の講話を聞きました。

今回のテーマである「笑顔」について、そして、東北で起きた大震災の現状を映像を使って

話していただき、次のプログラムの学年別ディスカッションでは、講話を聞いて自分の思いや考えを話し合いました。

その日も雨は降らず、午後に予定していたウォークアリーヤー、野外炊飯でお好み焼きを作るなど、外で行うプログラムを変更することなく、2日目も無事に終えることができました。

3日目は、朝から快晴で雨の心配をせず、すがすがしい朝を迎えることができました。

午前中は初の試み、運動会をプログラムに入れ、中高生だけでなく、CS、教役者もチームを作り、参加者全員で大運動会を楽しむことができました。

午前、午後のプログラムも順調に進み、夕の礼拝では、歌を中心とするテキストの祈りを行い、一人ひとり考えたお祈りをお捧げしました。夜は楽しみにして

(広島復活教会信徒)

8月23日から3泊4日で、仙台市の秋保グランドホテルを宿泊会場にして開催された、日本聖公会全国青年大会に参加しました。私は、青年大会への参加は勿論、聖公会の行事や神戸教区の行事にも参加したことがなく、今回が初めての行事への参加となりました。今回の青年大会の参加者は、全体で約80名近い参加者がおり、半数以上が30歳以下の青年でした。神戸教区からは青年3名、司祭様1人計4名の参加となりました。

初日は、開会式とオリエンテーションがあり、夕食を挟み、「いっしょに歩こう!プロジェクト」についてのガイダンスと、セッション1の「教会にできることがあります」という内容の川上直哉牧師による基調講演がありました。

最後に、チャップレンの長田先生、役員のみんな、その他大勢の方、支えてくれてありがとうございました。みんなの協力のおかげで最高の大会になりました。

そして、中高生で築きあげてきた大会も来年で50回を迎える。参加者をもっと増やしていくことを願っています。

外の人の夢。でも、そこで暮らいない人は、復旧・復興というが、そこに住んでいる人の中には復旧も復興も望んでいない人もいる」と仰っていたことが心に残りました。「元に戻すのは

その中で、「被災地に住んでいない人は、復旧・復興といふ人が、人と人の繋がり壊していった」と仰っていました。また、福島の人達の居心地の悪さや外遊びの出来ない子ども達をどうするのかといった問題についても、仰っていたことが印象に残っています。

その後、セッション4として、「分かち合い」の時間があり、セッション2・3で聞いた事、

日本聖公会全国青年大会に参加して

～2012 in 東北 re:member～ひかりを灯す～

マリア 河村有里紗



プログラムに取り入れられた運動会

8月23日から3泊4日で、仙台市の秋保グランドホテルを宿泊会場にして開催された、日本聖公会全国青年大会に参加しました。

台市の秋保グランドホテルを宿泊会場にして開催された、日本聖公会全国青年大会に参加しました。

私は勿論、聖公会の行事や神戸教区の行事にも参加したことがなく、今回が初めての行事への参加となりました。今回の青年大会の参加者は、全体で約80名近い参加者がおり、半数以上が30歳以下の青年でした。神戸教区からは青年3名、司祭様1人計4名の参加となりました。

最終日、僕は中高生として最後の日を迎え、寂しさを感じながら閉会式を終え、来年の大会長を引き継いでくれた姫路の芳我直美さんに大会旗を渡し、無事今年の大会を終えることができました。

最後に、チャップレンの長田先生、役員のみんな、その他大勢の方、支えてくれてありがとうございました。みんなの協力のおかげで最高の大会になりました。

そして、中高生で築きあげてきた大会も来年で50回を迎える。参加者をもっと増やしていくことを願っています。

外の人の夢。でも、そこで暮らいない人は、復旧・復興といふ人が、人と人の繋がり壊していった」と仰っていました。また、福島の人達の居心地の悪さや外遊びの出来ない子ども達をどうするのかといった問題についても、仰っていたことが印象に残っています。

その後、セッション4として、「分かち合い」の時間があり、セッション2・3で聞いた事、

日本聖公会宣教協議会開催

9月14日(金)～17日(月)、静岡県浜名湖畔にある研修施設『カリック』において、日本聖公会各教区の信徒・聖職の代表者約一四〇名、また大韓聖公会から二名の代表者が集まって、日本聖公会宣教協議会が開催され、参加者は多くの話し合いと学びの時を持ちました。

カトリックのベリス・マルセス宣教修道院の清水靖子シスターから原発に関する特別講演。『いっしょに歩こう!プロジェクト』から活動報告。そして、中部教区の西原廉太司祭から基調講演「わたしたちの『宣教』を想い描くために」日本聖公会の宣教の課題と可能性』を聞く。小よ志さんが、教会に来られた外国人に、いつも笑顔で、気を遣つて言葉をかけられていたというお話を(とてもここでは書ききれない素敵なもの)、深いお話を(いつも)話を聞いた時、私は教会で出会う人にここまで温かな眼差しを向けていたか?と心を痛めました。深澤さんのような豊かな人生経験はありませんが、そんな私をも神様は愛してくださっているとの確信によって、できることがあるでしょう。



- ② 世界、社会の必要に応え仕えること〈ディアコニア〉
- ③ 生活の中で福音を具体的に証しすること〈マルトウリア〉
- ④ 祈り、礼拝すること〈レイトルギア〉
- ⑤ 主にある交わり、共同体となること〈コインニア〉

(中原康貴司祭 記)

西原廉太司祭の講演の中で、岡谷聖バルナバ教会信徒の深澤小よ志さんが、教会に来られた外国人に、いつも笑顔で、気を遣つて言葉をかけられていたというお話を(とてもここでは書ききれない素敵なもの)、深いお話を(いつも)話を聞いた時、私は教会で出会う人にここまで温かな眼差しを向けていたか?と心を痛めました。深澤さんのような豊かな人生経験はありませんが、そんな私をも神様は愛してくださっているとの確信によって、できることがあるでしょう。

3日目は、朝から被災地巡りをしていました。私は石巻コースを選び、野蒜駅、大川小学校、日和山公園、門脇小学校、鹿妻小学校を回りました。

西原廉太司祭の講演の中で、岡谷聖バルナバ教会信徒の深澤小よ志さんが、教会に来られた外国人に、いつも笑顔で、気を遣つて言葉をかけられていたというお話を(とてもここでは書ききれない素敵なもの)、深いお話を(いつも)話を聞いた時、私は教会で出会う人にここまで温かな眼差しを向けていたか?と心を痛めました。深澤さんのような豊かな人生経験はありませんが、そんな私をも神様は愛してくださっているとの確信によって、できることがあるでしょう。

4日目は、聖餐式と閉会セレモニーを行ないました。聖餐式の中で、前日グループ毎に作った代祷を、各グループの代表が前に出て捧げました。

私はIグループの代表として代祷を読ませて頂きました。主教様や司祭様達の前で代祷を読むことは緊張しましたが、貴重な体験をすることが出来てよかったです。あつという間の3泊4日でしたが、この青年大会で知り合えた仲間達とこれから教会、聖公会、各教区を支え、盛り上げていかなければならぬと強く感じさせられた4日間でした。

最終日、「日本聖公会〈宣教・牧会の十年〉の提言」という文書を全体でまとめる予定でした。全員が合意することは難しく、最終調整は実行委員会に委ねられました。

ここでは大きな五つの見出しあります。

① み言葉に聞き、伝えること

初めて浜名湖畔を訪れました。ただけ。本当に中身の濃い宣教協議会で、全国の、色々な立場の方々が集まる中、宣教について

(高知聖パウロ教会)



神戸教区からの参加青年。右から山本風太兄、河村有里紗姉、八代良寛兄。

て真剣に考える機会を頂いたことに感謝しています。現在、教会が抱えている信徒減少と高齢化、財政の逼迫、聖職者の不足に対し、特効薬はない!けれども、教会の宣教の原点である信徒への牧会、地域全体に対する牧会的働きを、丁寧に実践していくことが、将来の教会のために今すべきことだと、参加者の多くの方々とと思いを共有し、励されました。

3日目は、朝から被災地巡りをしていました。私は石巻コースを選び、野蒜駅、大川小学校、日和山公園、門脇小学校、鹿妻小学校を回りました。

その後、荒浜へ集合し、全員で祈りを捧げてホテルへ帰りました。夕食後、セッション5「分かち合い」の時間があり、それぞれの被災地巡りを通して感じた事、印象に残った事を共有し、それぞれのグループで代祷を作り、3日目は終了しました。

4日目は、聖餐式と閉会セレモニーを行ないました。聖餐式の中で、前日グループ毎に作った代祷を、各グループの代表が前に出て捧げました。

私はIグループの代表として代祷を読ませて頂きました。主教様や司祭様達の前で代祷を読むことは緊張しましたが、貴重な体験をすることが出来てよかったです。あつという間の3泊4日でしたが、この青年大会で知り合えた仲間達とこれから教会、聖公会、各教区を支え、盛り上げていかなければならぬと強く感じさせられた4日間でした。

被災地について学び、実際に目にしてることで、私の考え方、意識を変えるきっかけを、かけがえのない友との出会いを、貴重な時間を共有する機会を与えて下さった神様に感謝します。

さい。遠くじゃ駄目なんですね」と繰り返し仰っていたのが印象的でした。

私にできることを…

ヨハンナ 弘井宗子

牧会の十年の提言」という文書を全体でまとめる予定でした。全員が合意することは難しく、最終調整は実行委員会に委ねられました。

ここでは大きな五つの見出しあります。

① み言葉に聞き、伝えること

『いっしょに歩こう!プロジェクト』の報告で、長谷川清純司祭が話された物語『ハチドリ計画』の「私にできることをしているだけです」と言ったハチドリのよう生き、私がいただいしている賜物をこれから教会の働きに役立てたいと思います。

被災地について学び、実際に目にしてることで、私の考え方、意識を変えるきっかけを、かけがえのない友との出会いを、貴重な時間を共有する機会を与えて下さった神様に感謝します。

(神戸昇天教会信徒)

松蔭女子学院創立一一〇年記念式典

執事 イサク 坪井 智

学校が開校して今年は120年目の記念の年にあたります。

1月に神戸聖ミカエル大聖堂で行われた記念礼拝を皮切りに、中高記念式典や、神戸松蔭女子学院大学チャペルでのケンブリッジセントジョンズカレッジ聖歌隊のコンサートなど、色々な記念行事が行われました。そして創立記念日である9月17日には、内外の関係者や教会関係者から多数の来賓を迎え、学園の120周年記念式典を大学チャペルで盛大に行う事ができました。



特に、今回式典を考える上で、チャップレン団は、混沌とした今だからこそ、しっかりとみ言葉の解き明かしと祈りを行いたいと考え、当日は、元院長である中村主教様から説教を頂き、また聖職だけではなく生徒学生の代表にも祈りを獻げていただきました。

(松蔭中学校・高等学校チャップレン・神戸松蔭女子学院大学非常勤チャップレン)

させる時がきていると、121年目への希望を示されました。

また、生徒・学生の祈りは、

戸教区の多くの聖職者を育てられたミス・リーの3名を取り上げ、其々が己を捨てて自らの成すべき仕事を行ったことを、ヨハネ福音書の一粒の麦の例えを取り上げつつ語られました。

其々が身を以て示された福音によって現在の松蔭があることに感謝し、今新たな種蒔きと新しい麦の死による生をスタート

彼女たちの祈りの言葉には、平和の器となるように、苦しむ者悲しむ者(特に東日本大震災の被災者)と共に歩めるよう

に、イエス様の福音を実現することができる、そのことを大切にする学校の姿を願い求めています。今後200年、300年、1000年と経ても、変わらずこの思いを大切にできる学校になれるよう、今教職員が心を込めなければならない事を確認することができた式典でした。

最後に、今まで120年の間、神戸教区の皆様からの大きな支えがあったこと、またこの記念の年に祈りを持って祝ってくださったことを、心より感謝いたします。

東日本大震災関連情報

被災地信徒訪問団

司祭 ミカエル 小南 晃

9月10日(月)～12日(水)の二泊三日で、神戸昇天教会の信徒7名と牧師とで被災地訪問に参りました。

被災地に支援活動で行くのならばいいが、そうした活動が出来ないので被災地に行くことは、被災者の方々に失礼になるのではと、遠慮を持たれるかも知れません。

しかし、現状を知って、被災地を憶え続けていくことは大事な事でもあります。

今年に入つて、幾つかの教区や教会単位の被災地訪問がなされています。

二日目の9月11日は、まず「いっしょに歩こう!プロジェクト」仙台オフィスに参り、大震災から1年半目を覚え、また2001年の米国での同時多発テロの犠牲者を覚えて、一緒に祈りを捧げました。



その後、福島県新地町ベースに行き、スタッフの案内で新地町の被災地を回り、磯山聖ヨハネ教会にて祈りを捧げました。そして、広畑仮設住宅で被災者の方々のお話を聞く機会を得ました。

実際に被災地に立つことにより、改めて犠牲の大きさと、復興の道のりが多難なことを思い、私たちに出来ることは何かについて思い巡らす機会となりました。

(神戸昇天教会牧師)

公示

日本聖公会神戸教区第80(定期)教区会を招集します。

2012年9月26日
日本聖公会神戸教区
教区会議長
主教 アンデレ 中村 豊
記

日 時: 2012年11月23日(金)
午前8時から午後5時まで
場 所: 神戸聖ミカエル大聖堂

書記を下記のように任命します。
司祭 シモン 原田 佳城
司祭 ペテロ 中原 康貴

11月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2012年11月8日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 竹内 宗

11月の記念逝去教役者

| | | |
|-----|-----|------------------|
| 1日 | 司 祭 | レイモンド C. クリストファー |
| 3日 | 司 祭 | パウロ 山本 早太 |
| 4日 | 司 祭 | 山辺 久吉 |
| 8日 | 宣教師 | ヴァイオレット ハイド |
| 9日 | 司 祭 | アンデレ 児玉 正 |
| 13日 | 司 祭 | モーセ 木俣 茂世 |
| 17日 | 伝道師 | ルデア 内田 歌子 |
| 17日 | 司 祭 | ウイリアム H. ハンコック |
| 18日 | 伝道師 | チッポラ 末好 信子 |
| 19日 | 司 祭 | ヨハネ 側垣 正己 |
| 20日 | 司 祭 | パウロ 秋田 哲三 |
| 22日 | 伝道師 | 塩原 以満 |
| 28日 | 宣教師 | ジャネット マッキー |
| 30日 | 宣教師 | エイミ C. ボサンケット |

10月28日(日) 社会事業の日

この主日には社会事業のために祈りを上げ、当日の信施金は管区を通して、社会事業の活動のためにお献げください。

新刊紹介

マグダラのマリア、第一の使徒 権威を求める闘い

新教出版社 ■ 定価(本体3800円+税)
アン・グレアム・ブロック[著]／吉谷かおる[訳]
キリストの使徒とは誰か。「罪の女」として記憶されてきた女性の初代教会における真の地位を復元し、権威をめぐるジェンダー間の闘争の跡を緻密な考証によって解明した俊英の力作。

| | | | |
|---|---|---|--|
| 祝 聖 婚 7月 14日 ペ テ ロ 神 戸 聖 ミ カ エ ル 教 会 芳 中 賀 野 花 淳 | 祝 堅 信 8月 5日 テ レ ー ザ 米 子 聖 ニ コ ラ ス 教 会 定 家 和 佳 子 聖 ニ ガ ス チ ン 教 会 秋 山 ま ゆ み 廣 島 復 活 教 会 | 祝 受 洗 8月 12日 セ シ リ ア 岡 山 聖 オ ー ガ ス チ ン 教 会 吉 野 京 子 聖 オ ー ガ ス チ ン 教 会 | 祝 洗 6月 2日 ア ン デ レ 坂 牧 弓 末 (69 歳) |
| 神 戸 伝 道 区 ◎伝道区夕涼み会 7月 28日 13 00 から、伝 道区主催の夕涼み会を神戸聖ミ カエル教会で開催。アングリカ ン・ロザリオの作成と、それを使 いての祈りと黙想、江戸から くり人形の講演、すいか割り (写真)、そしてバーベキューと 親睦と学びと暑気払いのひと時 をもちました。参加者は約70名。 | 教 籍 移 動 6月 17日 モ ニ カ 村 瀬 祥 子 下関聖フランシス ・ザビエル教会へ 松江キリスト教会から カエル教会へ | 神 戸 伝 道 区 8月 4日 アン デ レ 坂 牧 弓 末 (69 歳) | ご 逝 去 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 聖 ペ テ ロ 教 会 |
| 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 |
| 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 | 神 戸 伝 道 区 8月 10日 マ ー ガ レ ット 本 吉 文 子 (89 歳) 神 戸 昇 天 教 会 |



収穫感謝献金のお願い

昨年は、教区内の各教会からの収穫感謝献金の具体的な応募はありませんでしたが、その後、松江基督教会より老朽化した牧師館内部の改修工事のための申請があり、120万円の補助を致しました。また鳥取聖ルカ教会にも除雪機購入のために15万円を補助致しました。

今年も、現在のところ具体的な応募はありませんが、幾つかの教会より、大雨のために教会関連施設や道路が被害を受けたとの報告を受けております。そのため、教会・牧師館・会館など関連施設の老朽化に対する修繕やバリアフリー化の必要性は今後ますます高くなることが予想されます。近い将来予想されるこれらの工事のために、お捧げ下されば幸いです。

2012年10月1日

日本聖公会 神戸教区

—記—

目的: 老朽化した教会・会館・牧師館等の修理 及び
バリアフリー化のため。

募金目標額: 200万円

募金方法: 皆様は、各教会配布の収穫感謝献金袋をご利用下さい、主日礼拝などでお献げ下さい。各教会で献げられた収穫感謝献金は、教区会開会聖餐式の時に代表者に献げて頂くか、教区財務部にご送金下さい。